

■ 賞金・商品 ■

投票によって選出された優秀チーム・優秀質問者について、以下の賞金・賞品が与えられます。

1位・・・金30,000円
2位・・・金20,000円
3位・・・金10,000円

優秀質問者(2名)・・・金2,000円

特別奨励賞・・・・・・・・金4,000円

※特別奨励賞は、上位3位以外の大学から、教員が決める。

フィーバー賞・・・お・た・の・し・み☆

※フィーバー賞とは？

七戸先生がプロデュースする毎年恒例の賞のこと。七戸先生のキラリと輝かるセンスにより選ばれた個性的な賞品が、審査員の先生方の選考により「第19回インターカレッジ民法討論会」において最もフィーバーしたゼミに贈られる。なお、審査基準は不明。

■ ルール ■

【立論・質疑応答】

- ◇発表者は5人以内。
- ◇黒板使用不可。
- ◇壇上への持ち込み資料はすべて可。
- ◇発表時間は1チームあたり10分以内とする。時間を超過した場合も、発表は中断せず最後までやること。但し、発表後に超過した時間は公表する。
- ◇発表後、1分間のインターバルの後に、質疑応答に入る。質疑・応答時間は13分以内とする。尚、13分を経過時点で質疑応答がなされている場合は、その続行を認め、終了時点で次の討論へ進む。
- ◇質問者は、原則として拳手が早い者から指名する。但し、関連の質問をする者がいる場合は、その者から先に指名する。
また、特定のゼミ・人物に偏らないように配慮する。

- ◇上記のルールを元に、質疑応答を担当している教員が質問者を指名する。
- ◇質問者は、まず所属ゼミに割り振られた記号と氏名を述べ、質問は簡潔・明瞭に行うよう努めること。
- ◇関連の質問をする者は「関連」と言って、挙手をする事。
- ◇発表チームは、質問終了時から1分以内に回答すること。1分以内に回答がない場合、無回答とされ、次の質問に移る。
- ◇自ゼミへの質問は原則禁止とする。しかし他ゼミからの質問が無かった場合においては認める。
- ◇参加ゼミからの質問がない場合においては、一般見学者にも質問を認める。但し、一般見学者は優秀質問者には入れない。

【レジュメについて】

- ◇レジュメの原稿は、用紙のサイズA4とし、ページ数は4ページ以内とする。
- ◇レジュメの印刷は、用紙のサイズはB4とし、見開き2ページの表裏印刷の1枚とする。
- ◇フォント、フォントサイズ、余白等のレジュメ構成は自由とする。但し、読みやすいように配慮すること。

【投票方法】

- ◇投票用紙は、各自評価後、ゼミごとに切り離し、投票箱に入れる。
- ◇学生に関しては、自分の所属するゼミへの投票は出来ない。

※本部にハサミの準備がございますが、限りがあります。

周囲の人との共同使用をお願いします。



投票方法は決まっていないため、未定。
討論会当日に詳しく説明いたします。

【投票について】

- ◇各チームに対する評価は、投票によって行う。
- ◇無記入は無効とする。

◇投票権は、すべての討論を聞いた学生に与えられる。

また、すべての討論を聞いた一般見学者にも投票権を認める。

◇教員が発表中に退室した場合、その時に発表していたゼミの採点は無効とし、平均点を出す際に有効投票数から除く。また、その他のゼミに対しては、通常の採点方法とする。

◇教員並びに学生、一般見学者は各ゼミに対し、1つの採点基準の点数の上限を10点とする、発表・レジュメ・質疑応答の3つの採点基準を合わせた、合計点数、最大30点として評価する。

◇教員並びに学生、一般見学者は下記の採点基準を参考に、自分の判断の下、公平な観点から採点をすること。

採点基準

- ・① レジュメ→
 - ・見やすい書き方か。
 - ・内容が発表に矛盾していないか。
- ・② 発表→
 - ・報告の姿勢が良かったか。
 - ・報告の趣旨・内容・結論が明確であったか。
 - ・結論を導く根拠、法律構成が明確に述べられていたか。
 - ・根拠は客観的であり、説得力があったか。
 - ・発表時間を超過していなかったか。
- ・③ 質疑応答→
 - ・質問を正確に理解し、それに対して答えられたか。
 - ・返答は簡潔でわかりやすい答えか。

◆得点の算出方法◆

→学生・一般見学者票の得点と、教員票の得点の総合計点数をそれぞれの有効投票数で別々に割って平均し、その学生・一般見学者票の平均点と教員票の平均点を合計したものが、最終の獲得点数とする。

→平均点を出す時に、もし、割り切れない場合は、小数第2位を四捨五入する。

計算の手順

1) 合計点数の計算方法

$$\text{①レジュメ【最大 10 点】} + \text{②発表【最大 10 点】} + \text{③質疑応答【最大 10 点】} \\ = \text{合計点数【最大 30 点】}$$

2) 平均点の計算方法

学生・一般見学者の総合計点数・教員の総合計点数をそれぞれの有効投票数で別々に割って、平均点を出す。

3) 獲得点数の計算方法

$$\text{学生・一般見学者の平均点【最大 30 点】} + \text{教員の平均点【最大 30 点】} \\ = \text{獲得点数【最大 60 点】}$$

※自ゼミへの投票は無効とし、平均点を出す際に有効投票数から除く。

※レジュメの提出期限を過ぎた、ゼミは獲得点数から 5 点減点する。また、当日にレジュメを印刷して持ってくること。

※投票の結果、獲得点数が同点のゼミが出た場合、教員票の平均点の高いゼミを高順位とする。

【優秀質問者投票】

◇投票権はすべての討論を聞いた教員並びに学生に与えられる。

また、すべての討論を聞いた一般見学者にも投票権を認める。優秀質問者投票に関しては自分のゼミへの投票も可能。

※あくまで自分の判断の下、公平な観点から投票すること。

◇優秀質問者の投票については、優秀だと思われた質問者 1 名の氏名(フルネーム)及び所属ゼミに割り振られた記号を該当欄に記入する。記入された氏名がどの質問者を指すのか判別不可能な場合は無効票とする。

以上